

森を建てよう。[®]

建築家が創るHOPデザイン。

無垢の素材による深遠な美を宿した邸宅

東京都T邸

日本は古来、素材そのものが宿す美を大切にしてきました。この邸宅はそんな日本の美意識が細部に至るまで表現されています。外壁に使われたイタリアの花崗岩は、オーナーがイタリアの石切場まで足を運んで選んだもの。リビングやホールに使われているベージュの大理石など石はすべてイタリアと中国から原石を購入し、この邸宅に合わせて加工しています。石の硬い印象を和らげているのが、ナラやタモといった木材。何本もの丸太から良質な木目のみを厳選し、和室の柱は特別な無節の柂目の杉を使用しています。天井板と床板は樹齢1000年の市房杉。床の間の漆塗りの地板は輪島の職人が仕上げるなど、細やかなディテールによって素材そのものがもつ美を最大限に引き出すことにより、品格の漂う唯一無二の邸宅が完成しました。